

# 平成22年度 決算説明書／事務事業評価シート

部局名	企画部
課室名	文化振興課

予算	款	項	目	決算書	
	2	1	12	76	頁

目名
文化振興費

事務事業名称
文化振興事業

## 1. 概要

目的	多彩な芸術・文化交流を育み、市民が芸術に触れる機会の拡充に努め、主体的な市民の文化活動を支援し、内外に発信する	対象	市民等
事業概要	<p>○豊後大野市総合文化センター自主事業 市民に文化芸術鑑賞機会を提供するため、幅広い年代に向けた各種観賞事業を実施した 市民が主体的に行う文化・芸術活動に対する支援を行い地域の文化や芸術の振興を図った</p> <p>○朝倉文夫記念館自主事業 大分県内の作家による個展やグループ展、県内のアマチュア作家を対象にした美術コンクール、市内で作成を楽しんでいる方々のグループ展等を行った。大分アジア彫刻展を県と共催で隔年に開催する</p>		

臨/経	事業名	事業内容(主な経費等)	予算現額(千円)	決算額(千円)	財源内訳				評価
					国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	総合文化センター自主事業	自主事業等12回、 入場者数5548人 委託料	27,751	25,459			8,657	16,802	3
経常	朝倉文夫記念館自主事業	展覧会(7回)・大分 アジア彫刻展 負担金補助 及び交付金	12,145	12,122			469	11,653	3
計			39,896	37,581	0	0	9,126	28,455	

## 2. 指標設定

成果指標	指標名	文化活動の活性化 自主事業の数	目標 年度	H27	指標の設定理由			
	数値	20回			総合計画／後期基本計画において、基本施策(5-2-2)の目標達成のための重点施策である			
活動指標	指標	a 総合文化センター自主 事業の入場者数	b	朝倉記念公園観賞型事 業の入館者数	c	朝倉参加型事業の参加 者数	d	
	数値	目標 6000人	目標	4500人	目標	100人	目標	

## 3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
文化活動の活性化 自主事業の数	回	23 回	22 回	20 回
		115.0 %	110.0 %	100.0 %

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 総合文化センター自主 事業の入場者	人	9,012 人	6,633 人	5,364 人
		150.2 %	110.6 %	89.4 %
b 朝倉記念公園観賞型事 業の入館者	人	4,154 人	5,260 人	5,918 人
		92.3 %	116.9 %	131.5 %
c 朝倉参加型 事業の参加 者数	人	100 人	150 人	800 人
		100.0 %	150.0 %	800.0 %
d				

## 4. 課題と対応

課題
特定の人々に偏った活動になっていて一般住民に浸透しきれていない。芸術鑑賞は敷居の高いものという意識を持っている人がいる
対応（改善点等）
ケーブルテレビ網を使った告知などで周知を図り参加者、利用者の増を図る。市民等にとって気軽に参加や観覧ができる魅力ある展覧会や、ワークショップ等を企画する

## 5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
		40,726	33,630	37,581	39,814
うち経常経費		40,726	33,630	37,581	36,603
財源内訳	国費				
	県費				3,211
	市債				
	その他	15,041	15,361	9,126	9,120
	一般財源	25,685	18,269	28,455	27,483
うち経常		25,685	18,269	28,455	27,483
事業費に係る人件費		13,075	13,141	13,490	12,384

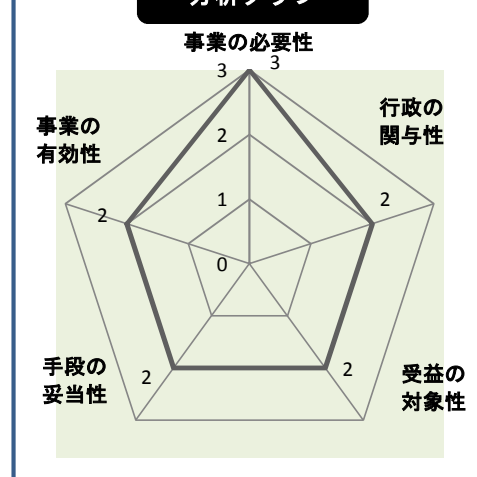
## 6. H24年度予算の方向性

方向性
<b>減額</b>
理由
個別の事業費の見直しを行い経費の削減を行う

## 7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠	
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	市民に芸術に触れる機会を提供したり、制作活動を行っている市民に発表の場を提供するのは心豊かな生活を送る上で必要である
② 行政の関与性	責任領域の精査	2	民間によるサービスの供給が可能であるが、民間サービスでは利益追求事業に偏る可能性がある。広く市民に芸術を提供するには行政の関与が必要である
③ 受益の対象性	事業対象の確認	2	市民全体に行きわたっているとはいえない
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2	魅力的な自主事業を展開することで入館者、ワークショップ等参加する人が増えることが望ましいが結果が伴っていない部分があり検討の余地がある
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2	朝倉記念館は参加型のイベントを例年より多く実施したくさんの市民が参加したが、総合文化センターは参加者入場者が少なかった

## 分析グラフ



## 8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	集客と収入の確保を図ること（経営努力）